

東京湾海況情報 20-06

東京湾水質調査結果（平成20年9月分）

平成20年9月9日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾：9/1(わかふさ)、内房：9/1(ふさみ丸))

データ提供：神奈川県水産技術センター、東京海洋大学(新富津水温ブイ)

資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

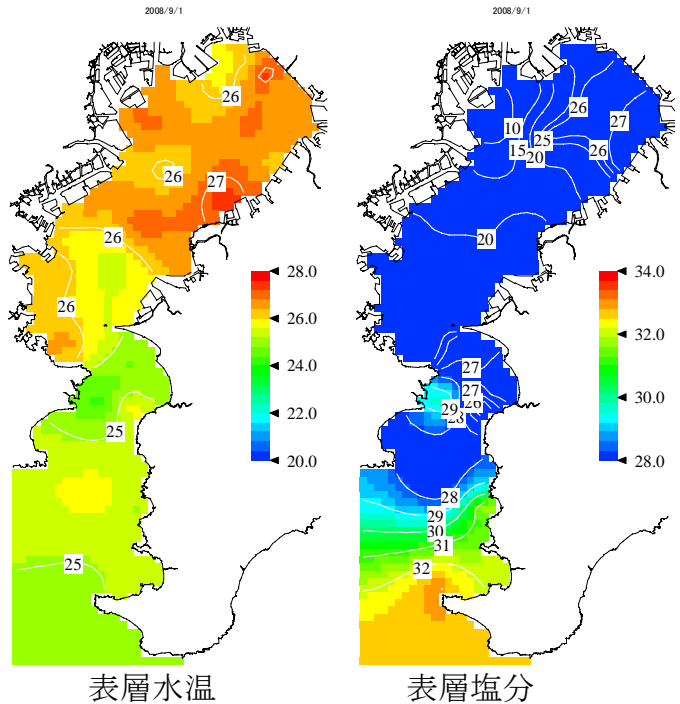
水温・塩分(図1～3、表1)

表層水温は24～27℃と内房北部は概ね平年並みであったが内湾は平年並みからやや高めでした。

表層塩分は、内房北部まで28以下と、8月末の豪雨の影響により全体的に低く、特に東京都海面から浦安にかけて15以下の低塩分域が見られました。

底層水温は、湾奥の北東部で23℃台と先月から4℃前後低下したほかは、全体的にはほぼ先月同様の分布となっていました。底層塩分は、内湾北部で32と上昇がみられ、全体でも若干上昇傾向が見られました。

鉛直分布では、水温躍層は認められず、塩分躍層は水深1～5m付近で認められました。



表層水温

表層塩分

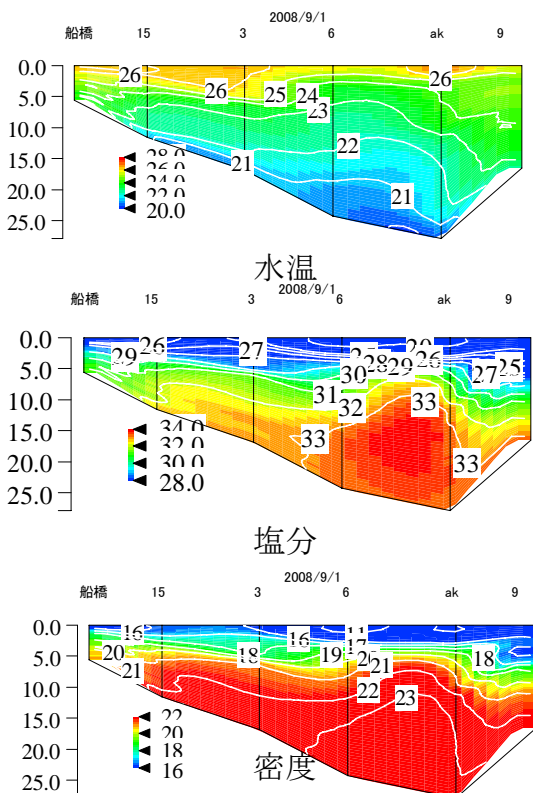
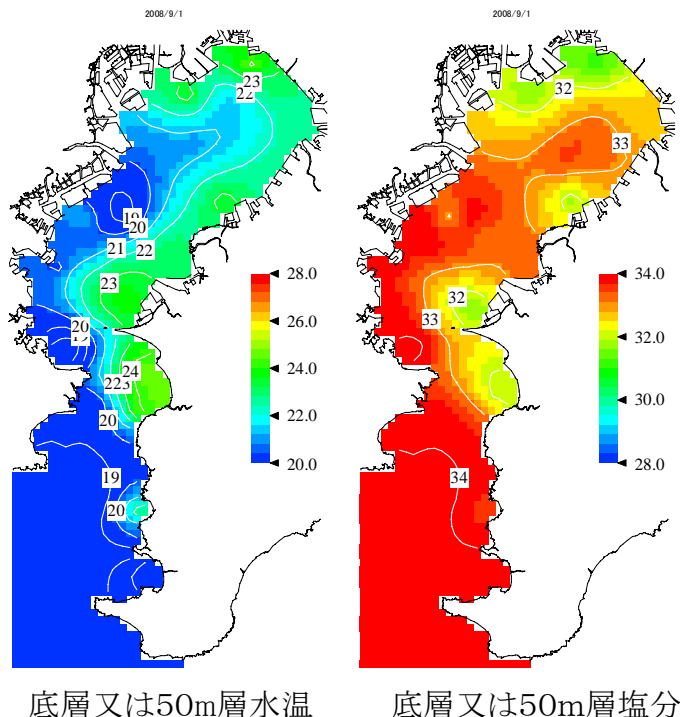


図2 内湾の鉛直分布



底層又は50m層水温

底層又は50m層塩分

図1 東京湾の水温・塩分分布

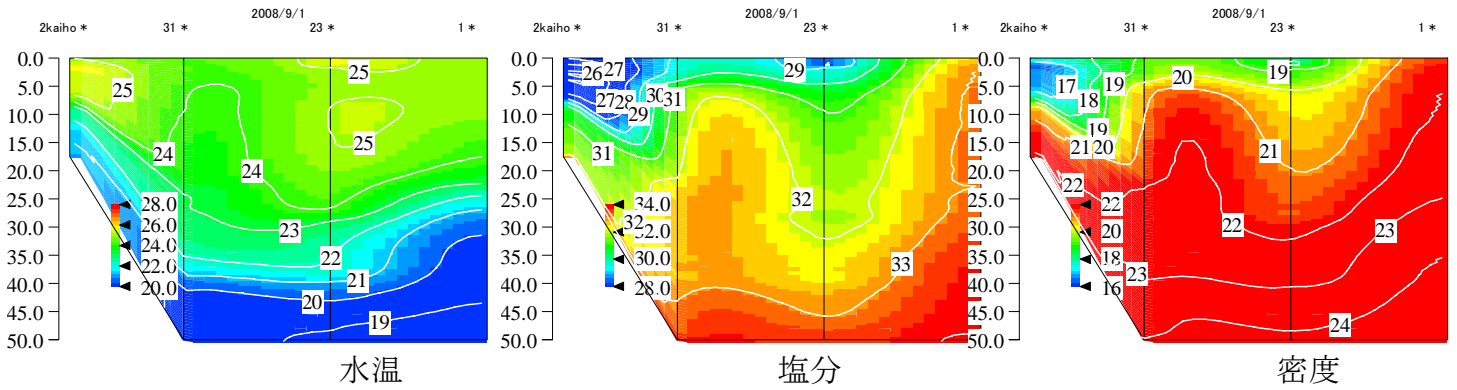


図3 内房の鉛直分布

赤潮の状況(図4、表1)

内湾中央から南部を中心に赤潮が発生しており、盤洲周辺ではpHは8.8~9.1に上昇し透明度は1m前後まで低下していました。赤潮優占種は、珪藻のニッチア(*Nitzschia sp.*)、キートケロス(*Chaetoceros sp.*)、スケルトネマ(*Skeletonema costatum*)でした。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、センサー値ですが内湾で23~68 $\mu\text{g/l}$ でした。

千葉県赤潮の目安は以下のとおりです。
色: オリーブ~褐色、酸素飽和度: 150%以上、透明度: 1.5m以下、pH: 8.5以上、クロロフィルa量: 50 $\mu\text{g/l}$



図4 透明度の分布(m)

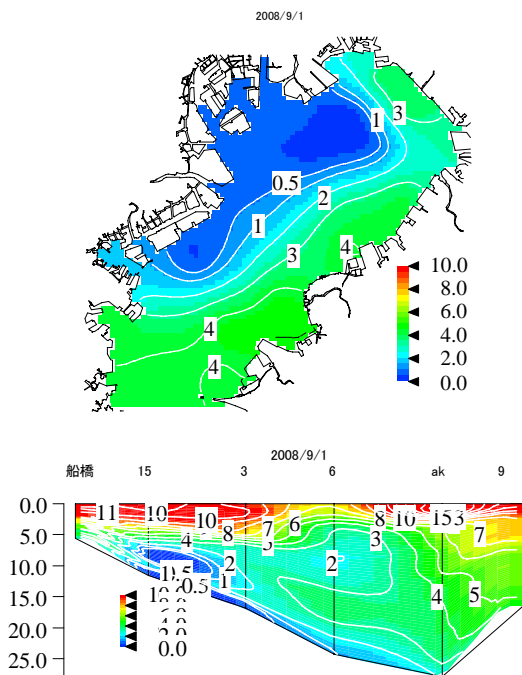


図5 内湾のDO(ml/l)
(上: 底層分布、下: 鉛直分布)

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾底層のDO分布は、0~4 ml/l ですが、貧酸素水塊は、内湾西部(川崎~浦安地先)に分布し、東部(船橋~富津地先)には見られませんでした。鉛直分布からも貧酸素水塊の規模は縮小していました。これは、8月末の1週間続いた青潮により海底の貧酸素水塊が湧昇したことによる一時的な現象と想定されますので、今後の情報には引き続き注意してください。

千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5 ml/l (酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

栄養塩類(図6、表1)

表層の栄養塩類は、出水により東京都海面を中心に非常に高い値(中心値DINで1000 $\mu\text{g/l}$, P04-Pで100 $\mu\text{g/l}$)を示す高濃度の分布域が出現している反面、千葉県側では全体に平年より低い値の分布域となっていました。

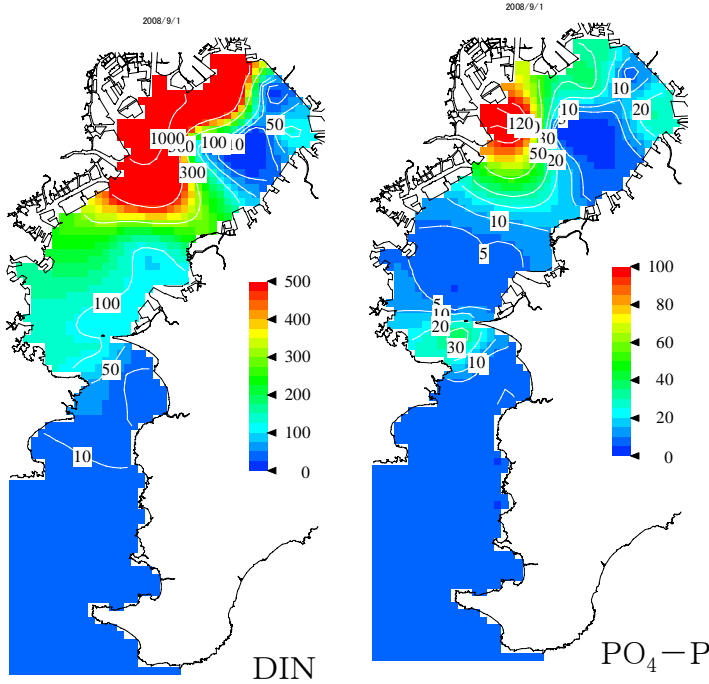


図6 表層の栄養塩分布 ($\mu\text{g/l}$)

黒潮の動き(図7)

黒潮は、C型流路で、八丈島西側で31度30分まで南下した後、青ヶ島付近を通過して北東方向に流れています。房総沖では離岸しています

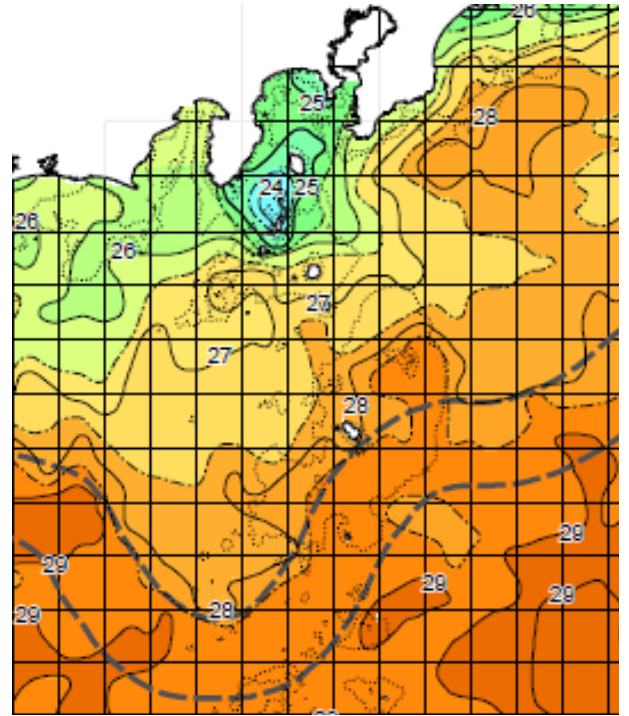


図7 黒潮の動き(9月1日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成20年9月1日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (mg/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/l}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/l}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/l}$)	クロロフィル a量 ($\mu\text{g/l}$)
内湾 海域	船橋	1.3 (1.5)	26.1 (26.1)	25.67 (27.21)	8.8 (8.4)	0.3 (2.1)	515 (262)	23 (41)	62 (86)
	st. 15	0.8 (1.5)	25.9 (26.5)	25.71 (26.08)	8.8 (8.6)	0.1 (1.2)	735 (257)	32 (12)	44 (31)
	st. 3	1.2 (1.6)	26.4 (26.3)	25.61 (26.37)	8.8 (8.7)	0.1 (0.5)	174 (190)	3 (9)	14 (29)
	st. 6	1.0 (2.2)	25.9 (26.0)	15.11 (27.63)	8.5 (8.6)	1.0 (0.9)	797 (181)	59 (14)	95 (31)
	st. 9	0.9 (2.4)	25.5 (25.2)	23.08 (29.11)	8.7 (8.4)	4.0 (2.7)	129 (168)	5 (13)	4 (36)
	盤洲Cブイ	0.9 (2.0)	27.4 (26.1)	19.31 (29.28)	8.9 (8.5)	4.0 (2.0)	204 (156)	5 (17)	5 (35)
	st. 8 (盤洲Aブイ)	0.8 (2.7)	26.7 (25.2)	23.18 (30.37)	8.9 (8.4)	4.1 (1.9)	117 (142)	8 (23)	6 (37)
富津ベタ	1.1 (3.1)	25.5 (24.7)	23.59 (27.09)	8.8 (8.3)	3.7 (2.9)	88 (102)	3 (11)	15 (31)	
内房 海域	第2海ほ下	1.5 (5.3)	25.5 (24.7)	25.74 (31.14)	欠測 (8.3)		107 (146)	2 (20)	6 (44)
	st. 31	欠測 (7.3)	24.2 (24.9)	29.33 (31.79)	欠測 (8.3)		28 (107)	2 (14)	5 (35)
	st. 23	欠測 (11.6)	25.6 (25.2)	27.95 (33.19)	欠測 (8.2)		7 (48)	1 (4)	5 (28)
	st. 1	15.0 (15.6)	24.3 (25.6)	33.00 (33.74)	欠測 (8.2)		8 (41)	4 (3)	6 (28)
	st. 10 (下洲沖)	2.0 (5.3)	24.6 (24.7)	26.88 (31.32)	欠測 (8.2)		8 (114)	5 (12)	6 (36)
	st. 12 (湊沖)	1.5 (5.9)	24.9 (25.0)	27.20 (31.43)	欠測 (8.3)		7 (113)	5 (11)	6 (38)
	st. 22 (保田沖)	7.0 (10.4)	欠測 (25.4)	欠測 (33.20)	欠測 (8.3)		9 (50)	0 (4)	8 (30)
	st. 24 (富浦沖)	9.0 (12.2)	25.1 (25.4)	31.69 (33.57)	欠測 (8.3)		10 (43)	0 (2)	8 (33)
	st. 26 (館山湾内)	14.0 (13.9)	25.4 (25.5)	31.90 (33.65)	欠測 (8.3)		9 (38)	1 (2)	5 (31)

(): 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)

*透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。なお、今月のクロロフィルa量は、センサー値で示しています。